

PROPOSAL / ご提案書

Substack 導入支援・運用代行サービス

「積み上げ型」メディア運用で、ポスト SNS 時代へ

株式会社バケット

BUCKET Inc.

2026 年 5 月

企業の発信が抱える、構造的な課題

アルゴリズムに依存した発信は、企業の資産になりにくい。

投稿しても届かない、バズっても積み上がらない — この構造を、いま見直すべきタイミングです。

01

リーチ低下

SNS アルゴリズムの変更により、フォロワーにすら投稿が届かない状況が常態化。

02

資産化しないバズ

短期的な拡散はあっても、ブランドや顧客関係としては積み上がらない。

03

関係の不在

プラットフォーム経由でしか接点がなく、自社で読者・顧客を保有できない。

ポスト SNS の選択肢、Substack

Substack は、メール配信を軸に記事・コミュニティ・有料購読を統合した、米国発のオウンドメディア型プラットフォーム。アルゴリズムに左右されず、購読者リストを自社の資産として保有できる発信基盤です。

リスト所有権

購読者メールアドレスは自社の資産。プラットフォーム依存を脱却できる。

アルゴリズム非依存

登録者には 100% 届く。SNS のフィルタリングに左右されない発信。

メール × 記事 × 課金

ニュースレター、ブログ記事、有料購読、コミュニティを一体運用できる。

発見性の拡張

Substack Notes ・ 推薦機能により、エコシステム内での新規読者獲得も可能。

なぜ「いま」投資すべきか

Substack への早期投資は、どちらに転んでも損をしない構造になっています。

シナリオ A

Substack が日本で拡大した場合

プラットフォーム成長に伴う先行者利益。
エコシステム内での発見性・ブランド優位を獲得。

シナリオ B

Substack が拡大しなかった場合

購読者メールリストは自社資産として残る。
メール起点の CRM ・直接マーケティング基盤を獲得。

どちらのシナリオでも、自社のメディア資産は確実に積み上がる。

バケットが提供する 4 つの価値

01 SNS 総合運用ノウハウ

長年の SNS マーケティング実績に基づき、メール配信のみならず記事・コミュニティ・SNS 連携を含む総合設計が可能。

02 国内 Substack トッププレイヤーとの連携

日本の Substack エコシステム主要プレイヤーとのネットワークを活かし、共同企画・コミュニティ起点の展開を実現。

03 AI 活用・人力運用の両対応

AI による高速運用から、編集者・ライターによる完全人力運用まで、企業の方針に応じた最適な体制を構築。

04 「積み上げる」運営哲学

短期のバズではなく、長期で資産化する運用思想。創業以来、ファン・コミュニティ起点の事業を一貫して展開。

サービス全体像

ヒアリングから KPI レビューまで、立ち上げと運用を一貫して伴走します。

1

戦略設計

目的・読者像・コンテンツ方針・
KPI の設計。媒体選定（Substack
中心 / 他媒体併用）も含む。

2

構築・移行

アカウント開設・デザイン設定・
既存メールリストの移行・初期テン
プレート整備。

3

運用・配信

コンテンツ制作・編集・配信・
SNS 連携。AI 活用 / 人力 / ハイ
ブリッドから選択可。

4

改善・拡張

月次レポート、KPI レビュー、
コンテンツ改善、有料化・コミュ
ニティ拡張の検討。

提供内容（初期パッケージ）

下記をベースに、お客様のフェーズと体制に合わせてカスタマイズします。

戦略・設計

- 目的・KPI 設計
- 読者ペルソナ定義
- コンテンツ戦略の策定
- 編集カレンダーの整備

構築・初期セットアップ

- アカウント開設・設定
- ブランドデザイン適用
- 既存メールリストの移行
- 初期テンプレート制作

コンテンツ・運用

- 記事執筆・編集（AI / 人力）
- 配信オペレーション
- ビジュアル制作
- 校正・品質管理

連携・読者獲得

- SNS 連携設計と運用
- 他媒体クロスポスト
- コラボ・共同企画の実装
- Substack 内連携活用

効果測定・改善

- 月次 KPI レポート
- 改善施策の提案・実装
- AB テストの設計
- 拡張機能の検討（有料化等）

オプション

- 国内 Substack プレイヤーとの共同企画
- ゴーストライティング体制
- セミナー・社内勉強会
- PR・ローンチ支援

AI 活用 × 人力運用の使い分け

コンテンツ制作・編集・分析の体制は、企業の方針と業界特性に合わせて選択できます。

MODE A

AI 活用型

AI で初稿生成・編集補助・分析を高速化。スピードと量を両立する運用。

適している企業

新規参入で頻度を稼ぎたい企業 / 限られた予算で立ち上げたい企業

MODE B

ハイブリッド型

AI で構造・素材を準備し、編集者が仕上げる。品質とスピードのバランスを取る運用。

適している企業

多くの企業に推奨される標準モード / 中長期で資産化を目指す企業

MODE C

人力型

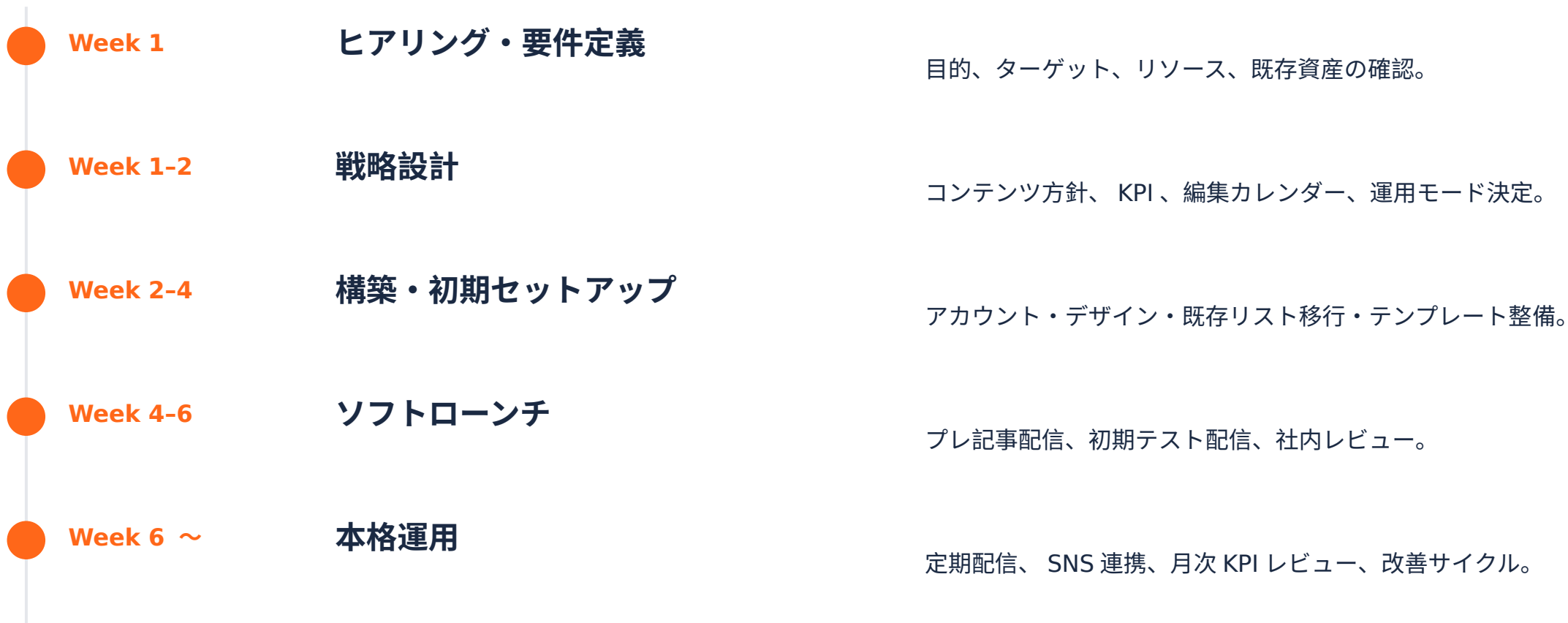
編集者・ライターが完全に手で書く。ブランドボイスや業界の信頼性を重視する運用。

適している企業

金融・医療・法律など信頼性が重視される業界 / 個人ブランドが強い経営者発信

導入プロセス

ご契約から本格運用開始まで、約 4 ～ 6 週間を想定しています。



料金プラン

「初期構築費 + 月額運用費」の二段構成。

業務範囲・配信頻度・運用モードに応じて個別にお見積もりいたします。

INITIAL

初期構築費

アカウント設計～ソフトローンチまで

- 戦略設計・KPI 設計
- アカウント開設・デザイン
- 既存メールリスト移行
- 初期テンプレート整備
- ソフトローンチ運用

1 回 / 約4～6 週間

MONTHLY

月額運用費

本格運用開始後の継続支援

- コンテンツ制作・編集・配信
- SNS 連携・読者獲得施策
- 月次 KPI レポート・改善
- 定例 MTG（隔週 or 月次）
- 運用モード（AI / 人力 / ハイブリッド）に応じて変動

月額 / 配信本数・運用範囲により変動

※ 上記は標準的な構成例です。記事数・運用モード・対応範囲に応じて柔軟に調整いたします。具体的な金額は個別ご提案にてご案内します。

想定する成果指標（KPI）

短期の数値目標と、中長期で積み上がる資産を分けて設計します。

SHORT / 短期（～3ヶ月）

立ち上げと初期トラクション

- 購読者獲得数
- メール開封率
- クリック率（CTR）
- 配信安定化

MID / 中期（3～12ヶ月）

読者との関係深化

- 継続購読率
- リード化率（B2B）
- コンテンツ別エンゲージメント
- SNS 連動成果

LONG / 長期（12ヶ月～）

資産としてのメディア

- 保有メールリストの規模
- ブランド認知・想起
- 有料購読・コミュニティへの転換
- 事業貢献（商談・採用）

株式会社バケットについて

「社会的課題をプロダクトで解決する」をキーワードに、SNS マーケティング・運用代行を主力事業として展開。コミュニティ起点のIP・プラットフォーム事業も多数手がけています。

会社概要

会社名	株式会社バケット (BUCKET Inc.)
所在地	東京都中央区
事業内容	SNS マーケティング・運用代行 / IP・コミュニティ事業 / プラットフォーム運営
主力事業	企業・団体の SNS アカウント運用代行
URL	https://bucket.co.jp/

関連事業・実績

CryptoNinja Partners (CNP)

コミュニティ発の Web3 時代の新しい IP 事業。

Fanclove

月額会費制サブスクリプションプラットフォーム。

デジタル城下町プロジェクト

お城・地域を盛り上げるオンラインコミュニティ。

SNS 運用代行実績

ラジオ・テレビ・イベント等エンタメ系の運用実績多数。

まずは無料のヒアリングから。

01

ヒアリング MTG（無料・60分）

貴社の発信目的・既存資産・課題感を伺い、Substack 活用の適性をお伝えします。

02

個別ご提案・お見積もり

ヒアリング内容をもとに、最適な構成と金額を1～2週間でご提案します。

03

ご契約・キックオフ

ご契約後、約4～6週間で本格運用開始。立ち上げから伴走します。

お問い合わせ

株式会社バケット

<https://bucket.co.jp/contact/>